時事新報

東京 明治十七年一月十日 木曜日 第五百五十五號 日曜日休刊 定價金三錢

公報

○海軍省達丙第二號　海軍一般

海軍三等師肥後盛艮ノ發明ニ係ル着發信管ハ數回ノ試驗ニ於テ其成績十全ナルヲ以テ今般之ヲ肥後信管ト命名シ自今海軍所用ノ着發信管ト定ム此旨相達候事

明治十七年一月九日　海軍卿川村純義

敍任賞勳

○明治十七年一月八日

任福岡縣大書記官　東京府少書記官正七位　渡邊清

任東京府少書記官　東京府麻布區長兼赤坂區長正七位　渡邊孝

○明治十六年十二月廿六日

法朗西共和國陸軍歩兵大尉　アレキサンドル、ユナエンス、ブーグアン

敍勳四等賜與旭日小綬章

法朗西共和國在横濱領事　ジユー、ヴユースラン

敍勳四等賜與旭日小綬章

時事新報

西洋ノ新文明支那ニ侵入スルノ影響

支那ハ世界ノ古國ニシテ數千年ノ古ヨリ亞細亞東陸文化ノ中心トシテ其名聲甚タ赫々タリシ、國古ケレハ隨テ社會ノ人事モヨク整頓シ倫教、哲學、政治、文事、技藝、農工商事等ニ至ルマデ人生所要ノ事物ハ一モ備ハラズト云フコナシ即チ人間世界一個ノ體裁ヲ成スモノト云フベキナリ若シ世界ニ風雨ノ變動ナクハ此體裁ヲ維持シテ千万年ノ後ニ傳ヘシコ或ハ能クスベキ事柄ナルヤモ測リ難シト雖ドモ如何セン近代歐羅巴ニ於テ物理推究ノ實學興リ一種新文化ノ創生ヲ見ル折柄突然蒸氣電氣ヲ人事ニ利用スルノ大發明ヲ爲シタルガタメニ地球全面ノ人間世界ニ万古未曾有ノ變動ヲ生シ人爲ノ舊制度舊組織全ク顏色ナシ甚シキハ從來人力ノ範圍外ニ在リシ天地自然ノ事物サヘ次第ニ其光輝ヲ失ヒテ人間ノ眼中漸ク將サニ天然ナカランキスルノ傾向アリ實ニ驚愕ノ至ニ堪ヘザルモノト云フベシ斯ル事ノ次第ナルガ故ニ支那舊來ノ文物制度何程ニ整備シタリシト云フモ蒸氣電氣ノ攻撃ヲ免カルベクモアラズ一タビ此攻撃ニ遭遇スルトキハ其速度ノ緩急ニヨリ早晩必ズ破滅碎粉ノ禍ヲ避クルコ能ハザルベシ蒸氣電氣ノタメニ撃破シ去ラル丶ハ獨リ支那ノ文物ニ限ルニアラズ滿天下東西ノ論ナク一般舊制度ノ免カルベカラザル定運ナリト申スベシ

支那人ガ西洋各國人ト貿易交通セシヤ甚タ久シ然レドモ其蒸氣電氣ノ實用以前ニ係ルモノハ其影響[illegible]メテ輕便ニシテ毫モ社會ノ組織ヲ紛擾スルニ足ルモノナカリシ並シ支那人ニ又支那政府ニ西洋アルコヲ知ラシメタルモノハ今ヨリ四十餘年前支那ノ道光十九年ニ廣東ノ[illegible]ガ英國商人ノ鴉片煙ヲ焼キ棄テタルヨリ事起リ數年ノ戰爭ニ英國ノ軍兵ハ忽チ江南ノ[illegible]ヲ陥レ大ニ支那[illegible]ノ肝ヲ冷サシメル[illegible]ガ遠洋渡航ノ船舶ニ蒸氣ヲ使用スルコヲ始メタル折ニシテ西洋人ノ聽力俄カニ其強大ヲ加ヘタル時期ナリシナリ此戰乱ノ後十七年咸豐九年ニ至リ英佛兩國ノ使節ヲ天津ニ要撃シテ又事ヲ起シ翌年英佛聯合ノ兵ノタメニ北京ヲ陥サレ遂レ城下ノ盟ヲ以テ和睦ヲ買ヒタルノ日ニ於テ支那人ガ西洋ヲ知ルコハ更ニ一層ノ深キヲ加ヘタリ是ヨリ後ハ支那ト交通スル外國ノ數モ増シ支那人ガ西洋新文明ヲ敬畏スルノ情モ漸ク深キヲ加フルニ至リ學生ヲ外國ニ派遣シ外國ヨリ新技術ノ教師ヲ聘シ造船所ヲ設ケ兵器局ヲ設ケ海軍ヲ興シ汽船會社ヲ興シ鑛山ニ從事シ電信線ヲ架シ外國ノ朝廷ニ使臣ヲ派遣スル等大ニ西洋ノ文明ヲ採用スルノ端緒ヲ開キタル折柄日本ト臺灣事件ノ談判アリ次ヂ又今ヨリ三年前ニハ英國ト雲南暴殺事件ノ談判アリ而シテ又去年以來ハ佛國ト安南事件ノ葛藤アリテ今日ニ至ルマデ和戰何レニ決スルヤヲ知ル者ナク日ニ危急ニ迫ルノ有様ナリ斯ル外交上ノ困難ヨリシテ大ニ悟ル所アリタルモノカ支那政府ハ近年頻リニ軍備擴張ニ從事シ軍艦ヲ新造シ銃砲ヲ購入シ一蹴シテ東洋第一ノ強國タランコヲ勉ムルモノ、如ク然リ既ニ内ニ此志望アリコレヲ滿足セシムルノ法ハ唯西洋ノ文明ヲ採用シ大ニ蒸氣電氣ヲ使用スルヨリ外ニ工風ナキヲ以テ現時支那人ガ文明ニ熱心スルノ念ハ日ニ益緊急ナルモノト知ルベキナリ

支那人幷ニ其政府ハ必ズ謂ハン西洋ノ文明ヲ採用スルハ文明全体ヲ採用スルニアラズ唯軍艦銃砲等護國ノ用ニ供スベキモノ一二ヲ採用シ永ク支那帝國ノ面目ヲ東洋ニ維持スベキノミト然レドモ焉ゾ知ラン西洋ノ文明ハ牛肉豚肉ノ類ニアラズ牛カ豚カコレヲ切リ賣リシテ我撰ブ所ノ部分ノミヲ取ルヲ得ベシト雖ドモ文明ハ則チコレニ異ナリ軍艦銃砲ノ利ヲ取ラントスレバ兵學航海學器械學物理學ノ知識ト共ニ他ノ政治法律經濟衛生哲學道德等ノ學識モ相隨伴シ來リコレヲ避ケント欲シテ避クベカラズ此等ノ學識一タビ人ノ腦裏ニ入レバ忽チ之ヲ人事ノ實際ニ現ハシ先ヅ今ノ支那社會ノ組織ノ中ニ就キ最モ不完全ナリト思惟スル部分ヨリ改革ヲ始メ時勢適當ノ新組織ニ遷ランコヲ勉ムルナルベシ是即チ文明開化ノ進歩ニシテ支那全國人民ノタメニハ甚タ賀スベキ事ナリト雖ドモ今ノ滿朝政府[illegible]氏一個人ノ利害ノタメニハ極メテ憂フベキ情勢ナリトス我輩固ヨリ未來ヲ照ラスノ炎鏡ヲ持スルニアラザルガ故ニ滿清政府ノ運命ヲ今日ニ明言スルコ能ハズト雖ドモ[illegible]ノ先例ヲ今ノ文明世界ノ實況トニ由テコレヲ觀レバ支那ノ文明ノ進歩スルト同時ニ先ヅ其[illegible]ヲ[illegible]スル者ハ[illegible]氏ノ朝廷ナラン[illegible]氏ニシテ一タビ[illegible]ノ實權ヲ失ハヾ今ノ支那[illegible]ノ社會ハ何等ノ[illegible]ヲ蒙ルベキヤ當時我々ガ豫想ノ力ノ及ブベカラザルモノナルベキヤ必然ナリ支那文明ノ進歩ハ其影響實ニ至大至廣ナリト云フベキナリ

雜報

○元老院行幸　來る十五日元老院開院の處御都合に依り明十一日同院へ臨幸開院式を行はせらるゝへき旨仰出されたり

○太政大臣の宴會　同大臣には來る十五十六の兩日間永田町なる官邸へ有栖川左府宮を始め各參議各省勅任官各國公使其他内外の貴顯紳士を順次に招待して新年の賀宴を開くよし

○警視總監　大迫警視總監は一昨八日歸京の筈なる由去る七日の本紙上に掲載せしが都合に依り暫時延引し來る十六日歸京直に警視廳構内の官舍へ居住する由

○福島青森縣令　同縣令は昨日任所に赴く筈なりしが御用都合にて來る十三日まで延期せりといふ

○三間正弘氏　憲兵本部隊長なる同氏は今度大坂へ置かれたる憲兵事務調理の爲め同隊下士卒數名と隨へ昨日横濱出帆の玄海丸に搭して大坂へ赴きたりと

○司法卿秘書官　司法少書記官栗塚省吾氏は去る七日司法卿秘書官を命せられ秘書官諸費として一ヶ月金四十圓給與する旨命せられたり

○上村長崎縣大書記官　長崎縣大書記官上村直則氏は先年長崎佐古軍人遺骸改葬の節同縣の土木課長にてありしかば過般内海忠勝氏の同縣令を免せられたる時に引續き上村氏も辭表を差出せし旨噂ありしが同氏は一兩日前非職仰付られたる由聞せり

○廢置　昨日内務省衛生局中の照査、報告、庶務の三課を廢し更に統計、會計の二課、編纂、書記の二掛を置き統計課長は太田御用掛に會計課長は長谷川權少書記官に書記掛長は土橋御用掛に其他局員にて掛り替へ昇級等もありたりと

○風說　兼て本紙上にも不日大藏省の關稅局と租稅局とを廢し更に主稅局と云ふを設けらるゝとの風說を掲げしが右は愈不日實施になるべしとの噂あり又我國にて貯蓄の事務は是迄專ら驛逓局にて取扱居たるが此度大藏省中へ貯蓄局と云ふを設け全く同省の管轄に屬せしむることになるべしとの說もあり又兼て世評のありし會社條例の一部分なる私立銀行條例は愈近日發表になるべしと云ふ如何にや

○海軍將校宴會　海軍將校百餘名は昨日延遼館を拜借して午后五時より新年の宴會を開きたりと云ふ

○酒造稅徵收　大藏省[illegible]稅局の官吏數名は酒造稅徵收の[illegible]として一昨日各地方へ出張したり

○府會議員選[…]欠の爲め本月[…]

○事務代理　[…]書記官に桒輔[…]信貴氏お代理[…]

○授業始　陸[…]工部大學校も[…]

○御雇教師歸[…]昨年中履濟の[…]

○磐城艦　磐[…]航したり

○艦船入渠　[…]敎艦、第一號[…]所有東海丸、[…]

○電話機通信　[…]りふれとも附[…]て鐵道用の通[…]務省北海道事[…]

○船舶出入　[…]差、壽都の四[…]船五十七艘日[…]漁船八十九艘[…]二十五艘福山[…]十石以上)三[…]本形船(五十石[…](五十石以上)[…]石以上)十一艘[…]五十石以上)四[…]五十石以上)[…]は函館出港は[…]十石以上)百[…]六艘日本形船[…]艘風帆船二艘[…]十八艘風帆船[…]は漁船六艘日[…]日本形船(五十[…]艘日本形船(五[…]艘日本形船(五[…]木港出入船舶[…]石以上同三艘[…]中岡港の出[…]風帆船七艘、[…]形船百四艘、[…]

○[…]